

## プログラム 8月26日(土)

### A会場 (ハイブリッド開催)

9:10~9:55

#### 特別講演 2

座長:山本 明美 (旭川医大)

特別 2

Skin Mast Cell Activation depends on Cross talk with keratinocytes and Dermal fibroblasts.

Anna Di Nardo (Department of Dermatology, Division of Epithelial Biology, University of California San Diego, La Jolla, California, USA)

10:00~12:20

#### シンポジウム 2 【病巣感染から考える乾癬関連疾患】

座長:原淵 保明 (旭川医大耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

小林 里実 (聖母病院)

SY2-1

病巣感染と乾癬関連疾患

岸部 麻里 (旭川医大)

SY2-2

掌蹠膿疱症における病巣感染と金属アレルギーの考え方

伊藤 明子 (ながたクリニック皮膚科)

SY2-3

粘膜免疫異常と IgA 腎症

森山 能仁 (東京医大腎臓内科)

SY2-4

耳鼻咽喉科から見る扁桃を病巣とした皮膚疾患

高原 幹 (旭川医大耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

SY2-5

歯科治療からみる病巣感染と皮膚疾患

押村 憲昭 (かすみり・おしむら歯科口腔機能クリニック)

12:30~13:30

#### ランチョンセミナー 6

【患者さんの QOL や未来を考慮したこれからの目指すべき乾癬治療】

座長:五十嵐 敦之 (いがらし皮膚科東五反田)

鶴田 大輔 (大阪公立大)

LS6-1

乾癬治療は PASI クリアを目指す新たな時代へ

多田 弥生 (帝京大)

LS6-2

本気で取り組む! Psoriatic Disease を考慮した乾癬治療戦略

山崎 文和 (東海大)

共催:ユーシービージャパン株式会社 メディカルアフエアーズ

13:40~15:40

シンポジウム3【マイクロバイオームから考える乾癬関連疾患】

座長:杉田 隆 (明治薬科大微生物学研究室)

河野 通良 (東京歯科大市川総合病院)

- SY3-1 皮膚-腸相関を繋ぐ腸内細菌  
筋野 智久<sup>1</sup>、宮本 健太郎<sup>2,3</sup>、金井 隆典<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>慶應義塾大内視鏡センター、<sup>2</sup>ミヤリサン製薬、<sup>3</sup>慶應義塾大消化器内科)
- SY3-2 乾癬研究における唾液の可能性  
槻木 恵一<sup>1</sup>、清水 智子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>神奈川歯科大歯学部環境病理学分野、<sup>2</sup>神奈川歯科大歯学部歯周病学分野)
- SY3-3 うつ病と腸内細菌  
功刀 浩 (帝京大精神神経科学講座)
- SY3-4 掌蹠膿疱症における皮膚のマイクロバイオーム  
黒木 香奈<sup>1,2</sup>、松本 由香<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>University of California San Diego、<sup>2</sup>東京医大)

15:40~15:50

閉会式

B会場 (ハイブリッド開催)

8:00~9:00

モーニングセミナー 1

【手引きから紐解く掌蹠膿疱症/掌蹠膿疱症性骨関節炎診療】

座長:照井 正 (日本大)

富田 哲也 (森ノ宮医療大)

- MS1-1 掌蹠膿疱症性骨関節炎の病態、診断について—掌蹠膿疱症性骨関節炎診療の手引き  
2022 より—  
田村 誠朗 (兵庫医大糖尿病内分泌・免疫内科学講座)
- MS1-2 掌蹠膿疱症診療の EN-Route Chart  
村上 正基、八束 和樹、大久保 ゆかり  
(愛媛大)

共催:ヤンセンファーマ株式会社/大鵬薬品工業株式会社

10:00~12:00

スポンサードシンポジウム 2

【乾癬および生体免疫における IL-17 の役割を再考する】

座長:大槻 マミ太郎 (自治医大)

山口 由衣 (横浜市立大)

- SSY2-1 乾癬発症に於ける IL-17A/F の役割  
岩倉 洋一郎 (東京大名誉教授/東京理科大生命医科学研究所)

SSY2-2 細菌及びカンジダに対する IL-17 生体防御機構の臓器特異性  
松岡 悠美(大阪大免疫学フロンティア研究センター)

SSY2-3 乾癬治療のアンメットニーズとビメキズマブへの期待  
川上 洋(東京医大/すみれ皮膚科クリニック)

SSY2-4 Aiming for a higher goal in psoriasis management  
Diamant Thaçi (Comprehensive Center for Inflammation Medicine, University of  
Luebeck, Germany)

共催: ユーシービージャパン株式会社

12:30~13:30 ランチョンセミナー 7  
【ドボベツト®フォームの特徴から考える尋常性乾癬外用療法の可能性】

座長: 江藤 隆史 (あたご皮膚科/東京通信病院)  
久保 宜明 (徳島大)

LS7-1 エビデンスから考えるドボベツト®フォームの可能性  
高村 さおり(埼玉医大総合医療センター)

LS7-2 尋常乾癬治療の実態より考えるドボベツト®フォームの位置付け  
安部 正敏(医療法人社団廣仁会/札幌皮膚科クリニック)

共催: レオ ファーマ株式会社/協和キリン株式会社

13:40~15:40 シンポジウム 4 【乾癬研究推進企画】

座長: 池田 志孝 (順天堂大)  
渡辺 玲 (大阪大)

SY4-1 乾癬病態におけるランゲルハンス細胞とメラノサイトの役割について  
中島 喜美子(高知大)

SY4-2 自己炎症性疾患と自己炎症性角化症の遺伝学的アプローチ  
武市 拓也(名古屋大)

SY4-3 乾癬の慢性化や再発を新しい視点で考えてみる  
柴田 彩(東京大)

SY4-4 脂質と乾癬病態  
本田 哲也(浜松医大)

C会場（現地開催）

8:00~9:00 モーニングセミナー 2（ハイブリッド開催）  
【膿疱性乾癬の新しい治療戦略】

座長：池田 志孝（順天堂大）  
多田 弥生（帝京大）

MS2-1 膿疱性乾癬における IL-36 の役割  
杉浦 一充（藤田医大）

MS2-2 膿疱性乾癬の疫学からみたアンメット・メディカル・ニーズ  
神谷 浩二（自治医大）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

9:10~10:40 乾癬教育プログラム J-PEARLS® 【患者中心の乾癬診療/乾癬性関節炎】

座長：川田 暁（近畿大名誉教授）  
森田 明理（名古屋市立大）

JP-1 乾癬教育プログラム J-PEARLS® 乾癬の合併症/治療概要（J-PEARLS® Module より）  
伊藤 寿啓（東京慈恵会医大附属第三病院）

JP-2 ～長期的な視野で考える乾癬治療～多様化する患者ニーズとその対応  
本間 大（旭川医大国際交流推進センター）

JP-3 リウマチ医がみる乾癬性関節炎～日常臨床から国際調和まで～  
岸本 暢将（杏林大腎臓・リウマチ膠原病内科）

共催：日本乾癬学会/ヤンセンファーマ株式会社

10:50~12:20 膿疱性乾癬（汎発型）（GPP）を対象とした学会認定教育プログラム（PIONEERS GPP）

座長：森田 明理（名古屋市立大）

GPP-1 GPP 教育プログラム PIONEERS GPP—GPP の臨床像—  
大久保 ゆかり（東京医大）

GPP-2 汎発性膿疱性乾癬の病理組織像  
山元 修（鳥取大名誉教授）

ケースカンファレンス：GPP と類縁疾患の診断

司会：今福 信一（福岡大）

パネリスト：葉山 惟大（日本大）

立石 千晴（大阪公立大）

藤田 英樹（日本大）

共催：日本乾癬学会/日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

12:30~13:30 ランチョンセミナー 8 (ハイブリッド開催)  
【乾癬治療に新しい道すじを】

座長:鳥居 秀嗣 (JCHO 東京山手メディカルセンター)  
佐伯 秀久 (日本医大)

LS8-1 TYK2 阻害剤と JAK 阻害剤における作用機序の違いと有用性  
岡田 正人(聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center)

LS8-2 ソーティクツの乾癬における有効性と安全性; ~乾癬治療における Tyk2 阻害剤の位置づけ~  
小宮根 真弓(自治医大)

共催:ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:40~14:55 一般演題 14 【乾癬 併存症】

座長:門野 岳史 (聖マリアンナ医大)  
下村 裕 (山口大)

71 旭川医科大学皮膚科において特発性大腿骨頭壊死症を合併した乾癬患者のまとめ  
野崎 尋意<sup>1</sup>、本間 大<sup>2</sup>、山本 明美<sup>1</sup>、谷野 弘昌<sup>3</sup>、林 圭<sup>4</sup>、高橋 英俊<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>旭川医大、<sup>2</sup>旭川医大国際医療支援センター、<sup>3</sup>旭川医大整形外科学講座、  
<sup>4</sup>北見赤十字病院、<sup>5</sup>高木皮膚科診療所

72 CT 画像を用いた乾癬患者における骨粗鬆症の併存率の検討  
柴田 夕夏<sup>1</sup>、福田 健志<sup>2</sup>、梅澤 慶紀<sup>1</sup>、延山 嘉真<sup>1</sup>、朝比奈 昭彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医大、<sup>2</sup>東京慈恵会医大放射線医学講座

73 当科におけるぶどう膜炎を伴う乾癬の臨床的検討  
浅見 美穂、渡邊 友也、安田 綾子、浅井 知佳、高村 直子、渡邊 裕子、山口 由衣  
横浜市立大

74 当院で生物学的製剤を投与した乾癬患者における非造影胸部 CT の冠動脈カルシウムスコア  
布井 春佳<sup>1</sup>、橋本 由起<sup>1</sup>、中西 理子<sup>2</sup>、石河 晃<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東邦大、<sup>2</sup>東邦大循環器内科

75 乾癬患者 88 名の治療経過における冠動脈血管異常の変化率と死亡、生存例の背景因子に関する追跡調査研究  
岡本 千明<sup>1,3</sup>、山崎 文和<sup>1,2,4</sup>、Mai Huynh Trang Nguyen<sup>1</sup>、尾崎 吉郎<sup>2,5</sup>、竹花 一哉<sup>2,6</sup>、  
谷崎 英昭<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関西医大付属病院、<sup>2</sup>関西医大付属病院乾癬センター、<sup>3</sup>関西医大総合医療センター、  
<sup>4</sup>東海大、<sup>5</sup>関西医大附属病院リウマチ膠原病科、<sup>6</sup>関西医大附属病院循環器内科

76 乾癬患者における Fib-4 index と NAFLD fibrosis score の測定の試み  
川本 真帆<sup>1</sup>、齊藤 華奈実<sup>1</sup>、後藤 瑞生<sup>1</sup>、村上 和成<sup>2</sup>、柴田 洋孝<sup>3</sup>、波多野 豊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大分大、<sup>2</sup>大分大消化器内科、<sup>3</sup>大分大内分泌代謝・膠原病・腎臓内科

77 秋田大学における乾癬患者への栄養管理指導  
 山川 岳洋、河野 通浩  
 秋田大附属病院

78 乾癬治療における栄養相談の活用  
 佐藤 俊之<sup>1</sup>、百瀬 まみ<sup>1</sup>、梅澤 慶紀<sup>1</sup>、朝比奈 昭彦<sup>1</sup>、濱 裕宣<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医大、<sup>2</sup>東京慈恵会医大栄養部

16:00~17:30 乾癬・アトピー性皮膚炎の分子標的薬安全対策講習会【ビデオ上映】

注意すべき副作用と安全対策  
 朝比奈 昭彦(東京慈恵会医大)

生物学的製剤投与時に併発する呼吸器疾患、特に呼吸器感染症への対策  
 渡辺 彰(東北文化学園大医療福祉学部抗感染症薬開発研究部門)

JAK 阻害内服薬使用上の注意点  
 安部 正敏(札幌皮膚科クリニック)

D 会場 (現地開催)

8:00~9:00 モーニングセミナー 3【ストレスや併存症が免疫疾患に及ぼす影響】

座長: 本田 哲也 (浜松医大)  
 五十嵐 敦之 (いがらし皮膚科東五反田)

MS3-1 サイトカインと神経系による組織特異的炎症の誘導機構  
 村上 正晃(北海道大遺伝子病制御研究所/量子科学技術研究開発機構量子生命科学研究  
 所/自然科学研究機構生理学研究所)

MS3-2 併存症と乾癬~当科の研究を踏まえて~  
 森実 真(岡山大)

共催: サンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部

9:10~10:05 一般演題 15【生物学的製剤 2】

座長: 樋口 哲也 (東邦大医療センター佐倉病院)  
 樽谷 勝仁 (たるたに皮膚科クリニック)

79 バイオスイッチを 6 回行い治療に難渋している尋常性乾癬の 1 例  
 松本 彩希、大霜 智子、貝阿弥 瞳、鶴田 大輔  
 大阪公立大

80 ビメキズマブからリサンキズマブへアクティブスイッチを行った尋常性乾癬 4 例の検討  
 中島 香緒里<sup>1</sup>、渡部 秀憲<sup>2</sup>、飯島 真珠<sup>1</sup>、久保 麻梨絵<sup>1</sup>、岡野 達郎<sup>1</sup>、竹内 そら<sup>1</sup>、  
 宮垣 朝光<sup>1</sup>、門野 岳史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医大、<sup>2</sup>はるひ野皮膚科クリニック

- 81 尋常性乾癬に対する生物学的製剤を中断後、皮疹の再燃とともに新規に乾癬性関節炎を  
発症した2例  
高本 一盛、西谷 恒星、辻花 光次郎、十一 英子  
独立行政法人国立病院機構京都医療センター
- 82 乾癬患者における TNF- $\alpha$  阻害薬の治療効果を反映するバイオマーカーと治療反応性の  
予測因子の解明  
萩野 哲平<sup>1</sup>、佐伯 秀久<sup>2</sup>、神田 奈緒子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本医大千葉北総病院、<sup>2</sup>日本医大
- 83 横浜総合病院皮膚科における乾癬での生物学的製剤の使用状況  
鈴木 琢  
横浜総合病院
- 84 乾癬診療における地域医療連携  
杉原 夏子、菅井 順一、小宮根 真弓、安藤 貴代、桑原 理、岸本 恵美、神谷 浩二、  
大槻 マミ太郎  
自治医大
- 10:10~11:25 一般演題 16 【基礎研究】
- 座長: 谷崎 英昭 (関西医大)  
松下 貴史 (金沢大)
- 85 乾癬においてマクロファージガラクトース型 C 型レクチンを発現する抗原提示細胞が  
関与する可能性  
善家 由香理<sup>1</sup>、伝田 香里<sup>3</sup>、村上 龍一<sup>4</sup>、野地 美樹<sup>5</sup>、恒田 直人<sup>6</sup>、  
イシイ シュライデ カトリン<sup>5</sup>、鹿股 直樹<sup>6</sup>、新井 達<sup>1</sup>、入村 達郎<sup>5</sup>、池田 志孝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>聖路加国際病院、<sup>2</sup>順天堂大、<sup>3</sup>順天堂大難病の診断と治療研究センター、  
<sup>4</sup>東京大薬学系研究科免疫・微生物学教室、<sup>5</sup>順天堂大糖鎖創薬研究室、  
<sup>6</sup>聖路加国際病院病理診断科
- 86 乾癬患者の病変部と非病変部皮膚のタンパク質および脂質のイメージング質量分析法  
による解析  
岸本 恵美<sup>1</sup>、小宮根 真弓<sup>1</sup>、神谷 浩二<sup>1</sup>、前川 武雄<sup>2</sup>、木村 未歩<sup>1</sup>、佐藤 智仁<sup>3,4</sup>、  
高橋 豊<sup>3,4</sup>、瀬藤 光利<sup>3,4</sup>、大槻 マミ太郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>自治医大、<sup>2</sup>自治医大附属さいたま医療センター、<sup>3</sup>浜松医大細胞分子解剖学講座、  
<sup>4</sup>株式会社プレッパーズ
- 87 乾癬患者の角層中 S100A8/A9 と病勢との関連  
横田 真樹、橋本 由起、松永 由紀子、石河 晃  
東邦大
- 88 関節症性乾癬患者の血清中 CXCL10、CXCL13 の検討  
入江 絹子、山本 俊幸  
福島県立医大



- 89 炎症性皮膚疾患に由来する動脈硬化と IL-17A/F の関係について  
中西 丈比佐、飯田 祥平、松島 由明、水谷 健人、中山 裕一、杉岡 恭子、  
西村 真衣、馬岡 愛、近藤 誠、波部 幸司、山中 恵一  
三重大
- 90 炎症性皮膚疾患は不可逆性の不安症状を引き起こす可能性がある  
飯田 祥平、中西 丈比佐、山中 恵一  
三重大
- 91 イミキモド誘導性乾癬マウスモデルにおけるストレス応答性 MAP キナーゼ ASK1 の  
役割  
長谷川 英哲<sup>1</sup>、渡邊 有麻<sup>1</sup>、溝口 出<sup>1</sup>、片平 泰弘<sup>1</sup>、関根 碧水<sup>1</sup>、山岸 美宇<sup>1</sup>、  
園田 寿希心<sup>1</sup>、宮川 聡美<sup>1</sup>、前田 龍郎<sup>2</sup>、原田 和俊<sup>2</sup>、大久保 ゆかり<sup>2</sup>、善本 隆之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医大医学総合研究所免疫制御研究部門、<sup>2</sup>東京医大
- 92 イマチニブ外用は血管リモデリングの阻害によりイミキモド誘発マウスモデルの乾癬  
様皮疹を改善させる  
早川 数馬、前田 龍郎、江草 智津、大久保 ゆかり、原田 和俊  
東京医大

11:30~12:10 一般演題 17 【外用・光線療法】

座長:大磯 直毅 (近畿大奈良病院)  
岡本 崇 (山梨大)

- 93 近年当院での乾癬に対する PUVA バス入院の傾向について  
榎本 由季、山本 礼、渡邊 大起、金山 佳史、井汲 今日子、森田 明理  
名古屋市立大
- 94 名古屋市立大学病院にて爪乾癬にエキシマレーザーを照射した 8 例の検討  
山本 礼、井汲 今日子、榎本 由季、櫻井 麻衣、金山 佳史、森田 明理  
名古屋市立大
- 95 開業医診療情報データベースを用いた尋常性乾癬の治療実態調査 (DEFENDER  
study)  
安部 正敏<sup>1</sup>、伊藤 寿啓<sup>2</sup>、島田 辰彦<sup>3</sup>、菅井 順一<sup>4</sup>、津田 雄一郎<sup>5</sup>、東山 眞里<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団廣仁会、<sup>2</sup>東京慈恵会医大附属第三病院、<sup>3</sup>島田ひふ科、  
<sup>4</sup>菅井皮膚科パークサイドクリニック、  
<sup>5</sup>レオファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、<sup>6</sup>日本生命病院
- 96 実臨床下における配合外用薬のフォーム剤の臨床評価 (DEFENDER study)  
伊藤 寿啓<sup>1</sup>、安部 正敏<sup>2</sup>、島田 辰彦<sup>3</sup>、菅井 順一<sup>4</sup>、津田 雄一郎<sup>5</sup>、東山 眞里<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医大附属第三病院、<sup>2</sup>医療法人社団廣仁会、<sup>3</sup>島田ひふ科、  
<sup>4</sup>菅井皮膚科パークサイドクリニック、  
<sup>5</sup>レオファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、<sup>6</sup>日本生命病院



12:30~13:30 ランチョンセミナー9 (ハイブリッド開催)  
【乾癬ピラミッドをもとにしたSDMの実践～外用からバイオまで～】

座長:加藤 則人 (京都府立医大)  
中川 秀己 (あたご皮フ科/東京慈恵会医大名誉教授)

- LS9-1 Shared Decision Making による新たなコミュニケーション: EBMの原点からその先へ  
中山 健夫(京都大社会健康医学系専攻健康情報学分野)
- LS9-2 乾癬治療のセカンドエフォート～Shared Decision Making から見える治療の工夫～  
菅井 順一(医療法人すばる会菅井皮膚科パークサイドクリニック)

共催:マルホ株式会社

13:40~15:05 一般演題 18 【膿疱性乾癬 2】

座長:金澤 伸雄 (兵庫医大)  
中井 浩三 (高知大)

- 97 スペソリマブが奏功した膿疱性乾癬の2例  
北野 佑<sup>1</sup>、南保 宏実<sup>1</sup>、工藤 健太<sup>1</sup>、藤井 皓<sup>1</sup>、澤田 香織<sup>1</sup>、前田 進太郎<sup>1</sup>、  
松下 貴史<sup>1</sup>、島田 由佳<sup>2</sup>、山元 浩平<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>金沢大、<sup>2</sup>しまだ皮ふ科クリニック、<sup>3</sup>市立輪島病院内科
- 98 スペソリマブ投与により軽快した難治性膿疱性乾癬の1例  
鈴木 翔也、林 耕太郎、鎌田 昌洋、中島 秀之、内田 秀昭、東 さおり、  
長田 麻友美、江川 昌太、深谷 早希、福安 厚子、田中 隆光、石川 武子、多田 弥生  
帝京大
- 99 スペソリマブ投与後に多形紅斑を認めた汎発性膿疱性乾癬の1例  
中島 秀之、林 耕太郎、鎌田 昌洋、鈴木 翔也、内田 秀昭、東 さおり、  
長田 麻友美、江川 昌太、深谷 早希、福安 厚子、田中 隆光、石川 武子、多田 弥生  
帝京大
- 100 スペソリマブが著効した汎発性膿疱性乾癬の1例  
柿本 萌衣<sup>1</sup>、山北 高志<sup>2</sup>、山田 悠人<sup>2</sup>、杉浦 一充<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>刈谷豊田総合病院、<sup>2</sup>藤田医大
- 101 スペソリマブが奏効した高齢者の汎発性膿疱性乾癬の1例  
米倉 健太郎、武田 浩一郎、玉井 真理子、佐藤 浩子  
今村総合病院
- 102 スペソリマブ投与により改善を認めた膿疱性乾癬の1例  
松尾 真帆<sup>1</sup>、丹羽 宏文<sup>1</sup>、水谷 陽子<sup>1</sup>、周 円<sup>1</sup>、大西 秀典<sup>2</sup>、前田 学<sup>3</sup>、岩田 浩明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岐阜大、<sup>2</sup>岐阜大小児科、<sup>3</sup>八幡病院

- 103 汎発性膿疱性乾癬患者を対象としたスペソリマブの非盲検長期延長試験 Effisayil ON の中間解析結果  
森田 明理<sup>1</sup>、Alexander A Navarini<sup>2</sup>、Siew Eng Choon<sup>3</sup>、A. David Burden<sup>4</sup>、Min Zheng<sup>5</sup>、田中 優子<sup>6</sup>、Binqi Ye<sup>7</sup>、Christian Thoma<sup>8</sup>、Mark G. Lebwohl<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大、<sup>2</sup>Department of Dermatology, University Hospital of Basel, Basel, Switzerland、<sup>3</sup>Department of Dermatology, Hospital Sultanah Aminah, Clinical School Johor Bahru, Monash University Malaysia, Malaysia、<sup>4</sup>Institute of Infection, Immunity and Inflammation, University of Glasgow, Glasgow, UK、<sup>5</sup>Department of Dermatology, Second Affiliated Hospital, Zhejiang University, School of Medicine, Hangzhou, Zhejiang, China、<sup>6</sup>日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、<sup>7</sup>Boehringer Ingelheim (China) Investment Co. Ltd, Shanghai, China、<sup>8</sup>Boehringer Ingelheim International GmbH, Biberach, Germany、<sup>9</sup>Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA
- 104 入院患者と非入院患者における汎発性膿疱性乾癬のフレアに対するスペソリマブの有効性と安全性  
川上 洋<sup>1</sup>、B. Warren Richard<sup>2</sup>、大久保 ゆかり<sup>1</sup>、Milan Anadkat<sup>3</sup>、Peter Wolf<sup>4</sup>、Binqi Ye<sup>5</sup>、S. Renee Marshall<sup>6</sup>、Christian Thoma<sup>7</sup>、Min Zheng<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>東京医大、<sup>2</sup>Dermatology Centre, Salford Royal NHS Foundation Trust, National Institute for Health Research Manchester Biomedical Research Centre, University of Manchester, Manchester, UK、<sup>3</sup> Division of Dermatology, Washington University School of Medicine, St. Louis, MO, USA、<sup>4</sup>Department of Dermatology, Medical University of Graz, Graz, Austria、<sup>5</sup>Boehringer Ingelheim (China) Investment Co. Ltd, Shanghai, China、<sup>6</sup>Boehringer Ingelheim International GmbH, Ingelheim, Germany、<sup>7</sup>Boehringer Ingelheim International GmbH, Biberach, Germany、<sup>8</sup>Department of Dermatology, Second Affiliated Hospital Zhejiang University School of Medicine, Hangzhou, China
- 105 Spesolimab for the prevention of generalized pustular psoriasis (GPP) flares in East Asian patients : Results from the randomized, placebo-controlled Effisayil 2 study  
Akimichi Morita<sup>1</sup>、MG Lebwohl<sup>2</sup>、SE Choon<sup>3</sup>、J Crowley<sup>4</sup>、TF Tsai<sup>5</sup>、RB Warren<sup>6</sup>、N Hu<sup>7</sup>、P Hofmann<sup>8</sup>、C Thoma<sup>8</sup>、M Zheng<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>Department of Geriatric and Environmental Dermatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan、<sup>2</sup>Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA、<sup>3</sup>Department of Dermatology, Hospital Sultanah Aminah, and Clinical School Johor Bahru, Monash University Malaysia, Malaysia、<sup>4</sup>Bakersfield Dermatology and Skin Cancer Medical Group, Bakersfield, CA, USA、<sup>5</sup>Department of Dermatology, National Taiwan University Hospital and National Taiwan University College of Medicine, Taipei, Taiwan、<sup>6</sup>Dermatology Centre, Northern Care Alliance, National Institute for Health Research Manchester Biomedical Research Centre, The University of Manchester, Manchester, UK、<sup>7</sup>Boehringer Ingelheim (China) Investment Co. Ltd, Shanghai, China、<sup>8</sup>Boehringer Ingelheim International GmbH, Ingelheim, Germany、<sup>9</sup>Department of Dermatology, Second Affiliated Hospital, Zhejiang University, School of Medicine, Hangzhou, Zhejiang, China

8:00~9:00 モーニングセミナー 4

座長:山本 俊幸（福島県立医大）

MS4 乾癬における抗 TNF- $\alpha$  抗体療法が果たす役割と当科での取り組み  
吉崎 歩（東京大医学系研究科臨床カンナビノイド学講座）

共催:田辺三菱製薬株式会社

9:10~9:55 一般演題 19【膿疱性乾癬 3】

座長:石河 晃（東邦大）

神田 奈緒子（日本医大千葉北総病院）

106 乾癬性ブドウ膜炎を合併した汎発性膿疱性乾癬にセルトリズマブペゴルが奏功した 1 例  
八束 和樹<sup>1</sup>、松本 卓也<sup>2</sup>、坂根 由梨<sup>3</sup>、深浦 遼<sup>4</sup>、武市 拓也<sup>4</sup>、秋山 真志<sup>4</sup>、  
藤澤 康弘<sup>1</sup>、村上 正基<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛媛大、<sup>2</sup>愛媛大血液・免疫・感染症内科、<sup>3</sup>愛媛大眼科、<sup>4</sup>名古屋大

107 毛細血管漏出症候群を伴う膿疱性乾癬に顆粒球単球吸着除去療法後とセルトリズマブペゴルが著効した 1 例

高本 美智<sup>1</sup>、丸山 彩乃<sup>1</sup>、足立 尚弥<sup>1</sup>、大堀 侑紀<sup>1</sup>、小森 寛之<sup>1</sup>、益田 浩司<sup>1</sup>、  
加藤 則人<sup>1</sup>、外園 綾香<sup>2</sup>、古谷 佳美<sup>2</sup>、貫野 賢<sup>2</sup><sup>1</sup>京都府立医大、<sup>2</sup>大津市民病院

108 ビメキズマブとシクロスポリンの併用にて加療した急性汎発性膿疱性乾癬の 1 例

小杉 真弘、金田 一真、福永 淳、森脇 真一  
大阪医科薬科大

109 膿疱性乾癬の 2 例

前田 慈音<sup>1</sup>、大湖 健太郎<sup>1</sup>、山本 真有子<sup>1</sup>、中島 英貴<sup>1</sup>、中島 喜美子<sup>1</sup>、野本 正志<sup>2</sup>、  
杉浦 一充<sup>3</sup>、中井 浩三<sup>1</sup><sup>1</sup>高知大、<sup>2</sup>のもと皮フ科、<sup>3</sup>藤田医大

110 血清 Leucine-rich  $\alpha$ 2-glycoprotein(LRG)は汎発性膿疱性乾癬の新たなバイオマーカーである

入江 絹子、山本 俊幸  
福島県立医大

10:00~11:05 一般演題 20【乾癬性関節炎】

座長:天野 博雄（岩手医大）

佐藤 俊宏（いいそらヒフ科クリニック）

111 ぶどう膜炎を合併した関節症性乾癬の 1 例

倉田 麻衣子、下田 由莉江、大山 学  
杏林大

- 112 多発性圧迫骨折を来した脊椎炎型乾癬性関節炎の治療例  
平山 愛里彩<sup>1</sup>、石原 陽子<sup>2,3</sup>、小林 里実<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>聖母病院、<sup>2</sup>山手クリニック、<sup>3</sup>難病治療研究振興財団
- 113 IL-17 阻害薬導入前の血清ロイシンリッチ  $\alpha 2$  グリコプロテインと便中カルプロテクチン測定を試み  
坊地 実<sup>1</sup>、齊藤 華奈実<sup>1</sup>、後藤 瑞生<sup>1</sup>、戸甲 和美<sup>2</sup>、大村 雄一<sup>3</sup>、西田 陽登<sup>4</sup>、  
駄阿 勉<sup>4</sup>、村上 和成<sup>2</sup>、波多野 豊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大分大、<sup>2</sup>大分大消化器内科、<sup>3</sup>大分大内分泌代謝・膠原病・腎臓内科、  
<sup>4</sup>大分大診断病理科・病理部
- 114 乾癬性関節炎に伴う手指骨融解に対して、IL-17 阻害薬が著効した 1 例  
林 久美子<sup>1</sup>、小松 広彦<sup>1</sup>、石崎 純子<sup>1</sup>、田中 勝<sup>1</sup>、王 興榮<sup>2</sup>、梅垣 知子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京女子医大附属足立医療センター、<sup>2</sup>東京女子医大附属足立医療センター整形外科
- 115 アプレミラストと生物学的製剤の併用療法で寛解に至った難治性乾癬性関節炎の 2 例  
関根 真奈、大森 遼子、岡崎 俊樹、小林 愛里、照井 仁、井川 徹也、浅野 善英  
東北大
- 116 息子が Yao 症候群と診断された乾癬性関節炎の 1 例  
高野 大河、小宮根 真弓、杉原 夏子、岡田 寛文、宮内 ひとみ、大槻 マミ太郎  
自治医大
- 117 皮膚科とリウマチ科が連携した乾癬性関節炎専門外来体制の構築  
安藤 貴代<sup>1</sup>、杉原 夏子<sup>1</sup>、小宮根 真弓<sup>1</sup>、桑原 理<sup>1</sup>、岸本 恵美<sup>1</sup>、神谷 浩二<sup>1</sup>、  
菅井 順一<sup>1</sup>、大槻 マミ太郎<sup>1</sup>、佐藤 健夫<sup>2</sup>、佐藤 浩二郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自治医大、<sup>2</sup>自治医大アレルギーリウマチ内科

11:10~12:15 一般演題 21 【生物学的製剤 3】

座長:猪又 直子(昭和大)  
三井 浩(東京逋信病院)

- 118 グセルクマブの乾癬に対する特定使用成績調査:20 週までの中間報告  
多田 弥生<sup>1</sup>、杉浦 由加子<sup>2</sup>、神島 愛未<sup>2</sup>、田中 義人<sup>2</sup>、土屋 裕章<sup>2</sup>、増田 潤哉<sup>2</sup>、  
山中 恵一<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>帝京大、<sup>2</sup>ヤンセンファーマ株式会社、<sup>3</sup>三重大
- 119 乾癬を対象としたグセルクマブの海外第三相試験 (GUIDE) における有効性の罹病期間及び前治療別サブ解析  
本田 哲也<sup>1</sup>、Ghoreschi K<sup>2</sup>、Asadullah K<sup>2,3</sup>、Warren R B<sup>4</sup>、Wegner S<sup>5</sup>、Personke Y<sup>5</sup>、  
Kruger N<sup>5</sup>、Beissert S<sup>6</sup>、Schakel K<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>浜松医大、<sup>2</sup>Charite Universitätsmedizin Berlin、<sup>3</sup>Dermatological Practice Prof. Dr. med. Khusru Asadullah、<sup>4</sup>University of Manchester、  
<sup>5</sup>Janssen-Cilag GmbH、<sup>6</sup>University Hospital Carl Gustav Carus、<sup>7</sup>Heidelberg University Hospital

- 120 乾癬を対象としたグセルクマブの海外第三相試験 (GUIDE) において早期 PASI クリアを達成する予後因子の検討  
西田 絵美<sup>1</sup>、Schakel K<sup>2</sup>、Reich K<sup>3</sup>、Asadullah K<sup>4</sup>、Pinter A<sup>5</sup>、Jullien D<sup>6</sup>、Weisenseel P<sup>7</sup>、Paul C<sup>8</sup>、Gomez M<sup>9</sup>、Wegner S<sup>9</sup>、Personke Y<sup>9</sup>、Eyerich K<sup>10</sup>  
<sup>1</sup>岡崎市民病院、<sup>2</sup>Heidelberg University Hospital、<sup>3</sup>University Medical Center Hamburg-Eppendorf、<sup>4</sup>Dermatological Practice、<sup>5</sup>University Hospital Frankfurt am Main、<sup>6</sup>Edouard Herriot Hospital、<sup>7</sup>Dermatologikum Hamburg、<sup>8</sup>Paul Sabatier University、<sup>9</sup>Janssen-Cilag GmbH、<sup>10</sup>Karolinska Institutet
- 121 グセルクマブあるいは IL-17 阻害薬を処方される日本人乾癬患者の特徴：PSOLAR 試験のデータより  
山中 恵一<sup>1</sup>、左 信哲<sup>2</sup>、Jessie Chang<sup>3</sup>、Bryan Wahking<sup>3</sup>、多田 弥生<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>三重大、<sup>2</sup>ヤンセンファーマ株式会社、<sup>3</sup>ヤンセンアジアパシフィック、<sup>4</sup>帝京大
- 122 イキセキズマブは、爪乾癬の重症度にかかわらず寛解を維持する；Uncover-3 試験 5 年の結果  
板倉 仁枝<sup>1</sup>、Alexander Egeberg<sup>2</sup>、Lars Erik Kristensen<sup>3</sup>、Ronald Vender<sup>4</sup>、Shirin Zaheri<sup>5</sup>、Celine El Baou<sup>6</sup>、Gaia Gallo<sup>6</sup>、Elisabeth Riedl<sup>6,7</sup>、Christopher Schuster<sup>6,7</sup>  
<sup>1</sup>日本イーライリリー株式会社、<sup>2</sup>Bispebjerg Hospital, University of Copenhagen、<sup>3</sup>The Parker Institute, Bispebjerg and Frederiksberg Hospital、<sup>4</sup>McMaster University and Dermatrials Research Inc、<sup>5</sup>Imperial College Healthcare NHS Trust、<sup>6</sup>Eli Lilly and Company、<sup>7</sup>Medical University of Vienna
- 123 乾癬患者での生物学的製剤の有効性と薬剤中止率：Psoriasis Study of Health Outcomes (PSoHO) 試験の結果  
松尾 崇史<sup>1</sup>、Tiago Torres<sup>2</sup>、Ketty Peris<sup>3</sup>、Lynda Spelman<sup>4</sup>、Elisabeth Riedl<sup>5</sup>、Christopher Schuster<sup>5,6</sup>、Alan Brnabic<sup>6</sup>、Andreas Pinter<sup>7</sup>、Michael Sticherling<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>日本イーライリリー株式会社、<sup>2</sup>Centro Hospitalar Universitario Do Porto、<sup>3</sup>Roma and Policlinico Universitario Agostino Gemelli、<sup>4</sup>Veracity Clinical Research、<sup>5</sup>Medical University of Vienna、<sup>6</sup>Eli Lilly and Company、<sup>7</sup>University Hospital Frankfurt、<sup>8</sup>Friedrich-Alexander-University Erlangen-Nurnberg
- 124 日本の乾癬患者におけるインターロイキン-17 阻害薬の継続率：後ろ向きデータベース研究  
松尾 崇史、王 超辰、板倉 仁枝、花田 孝雄、蔡 志紅、大佐賀 智、荒西 利彦  
日本イーライリリー株式会社研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

12:30~13:30 ランチョンセミナー 10 (ハイブリッド開催)  
【アダリムマブの 15 年の軌跡と今後の展望】

座長:高橋 健造 (琉球大)  
林 伸和 (虎の門病院)

LS10-1 乾癬性関節炎について  
鶴田 紀子(北九州市立八幡病院)

LS10-2 化膿性汗腺炎について  
前川 武雄(自治医大附属さいたま医療センター)

共催:アッヴィ合同会社

13:40~14:45 一般演題 22 【生物学的製剤 合併症 3】

座長:中村 晃一郎(埼玉医大)  
渡辺 大輔(愛知医大)

- 125 セルトリズマブペゴル投与中に paradoxical reaction を生じた関節症性乾癬の 1 例  
柴田 知之<sup>1</sup>、山室 周子<sup>1</sup>、石黒 暁寛<sup>1</sup>、大嶋 雄一郎<sup>1</sup>、渡辺 大輔<sup>1</sup>、高橋 伸典<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>愛知医大、<sup>2</sup>愛知医大整形外科
- 126 ウステキヌマブ長期投与中に逆説的反応が生じた尋常性乾癬の 1 例  
鎌田 啓文、角田 加奈子、渡部 大輔、天野 博雄  
岩手医大
- 127 グセルクマブ投与後に皮疹のフレアを認めた尋常性乾癬の 1 例  
山口 道也、原田 和恵、松田 杏奈、下村 裕  
山口大
- 128 プロダルマブ投与中に生じた回盲部潰瘍  
山根 万里子<sup>1</sup>、林 宏明<sup>1</sup>、松本 啓志<sup>2</sup>、青山 裕美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>川崎医大、<sup>2</sup>川崎医大消化器内科
- 129 ビメキズマブ投与中に血便がみられた 1 例  
高野 敦啓<sup>1</sup>、藤井 理美<sup>1</sup>、百瀬 まみ<sup>1</sup>、梅澤 慶紀<sup>1</sup>、上田 薫<sup>2</sup>、朝比奈 昭彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医大、<sup>2</sup>東京慈恵会医大消化器内科
- 130 乾癬治療に対する長期生物学的製剤投与がうつ病に与える影響についての検討  
横見 明典、後藤 範子、小島 有紗、竹林 宏朗  
市立豊中病院
- 131 生物学的製剤投与中の乾癬患者における真菌感染症の発症リスクの検討  
南 圭人、比留間 淳一郎、鈴木 理紗、藤森 一希、大倉 正寛、森 美穂、松本 由香、  
川上 洋、小林 知子、阿部 名美子、原田 和俊、大久保 ゆかり  
東京医大